



## 風の子で「たすけてカード」と「勇気のバッチ」を作成してみました。

発達支援グループ風の子では、平成23年から水戸市役所防災・危機管理課危機管理室（当時は地域安全課危機管理室）と連携して障害者のための避難訓練を実施してきました。その上で、様々な障害を持つ方、高齢者やその他の災害弱者が困らないための避難方法や防災カードの有効利用などを1つずつ検討してきました。

今年度も平成29年9月17日（日）に水戸駅での避難訓練の実施予定をしていますが、大型台風の接近が見込まれ、残念ながら避難訓練は中止いたしました。

今年度の避難訓練の目標は2点ありました。

第1点は、昨年、車椅子利用者の避難訓練を行う際、様々な車椅子の形状により支援の仕方が異なることを学び、さらに車椅子利用者の避難精度を高めるための訓練を企画していました。そのため、有賀絵理先生（茨城大学）や水戸特別支援学校の校長先生をはじめ防災担当の先生方と何度か検討会を持って避難訓練を企画していました。

第2点は、上手に支援を求めにくい、情報を得にくい障害者がスムーズに支援を求めるためのツールとして、「たすけてカード」を作成しました。これを利用して円滑な救助の求め方・避難指示のあり方を定着させることを避難訓練に組み込んでいました。「たすけてカード」は、災害等に遭遇した場合、近くの方に提示すると、そのカードの内容を見て速やかに交番へ誘導してもらい、交番から危機管理室へ要支援者（障害者・災害弱者など）がいることを無線で知らせてもらいます。知らせを受けて市役所職員がすぐに交番まで駆けつけて、対象となる要支援者を安全に避難させることを目的に作成しました。

「たすけてカード」は、所持している要支援者も使い方に慣れる必要があり、支援者側である市民・警察・市役所等にその存在を知ってもらい、速やかに連絡可能なネットワークを構築が必要となります。

今後とも危機管理課と提携しながら、この「たすけてカード」の普及と「たすけてカード」に基づいた避難ネットワークの定着を図っていきたいと思っています。

## 「たすけてカード」とは？

災害時に周りの人に救助を求めるときに使います。カードを見せて、近くの交番まで連れて行ってもらうください。

交番のおまわりさんが、防災無線を使って直接水戸市役所 防災危機管理課に要救助者がいることを伝えれば、市役所職員が駆けつけて福祉的対応をしてくれます。提示した人は、そのまま交番で指示を待っていて下さい。

風の子では、パスケースにヘルプマーク（東京都作成）と防災カード（水戸市作成）を一緒にセットして携帯することで、個人の情報をもっと伝えやすいように開発しました。



現在、この「たすけてカード」についてのアンケートを行っております。

アンケートのご協力に関しては、直接風の子事務所(029-253-3341)までご連絡ください。ご協力宜しくお願いします。

## 「勇気のバッチ」もつくりました。

何か手助けをしようと思う側にも、意外に勇気を出して声をかけられないものです。

今回、「勇気のバッチ」をつくりました。みんなでバッチをつけてみませんか？

このバッチをつけている人に声をかけるといいよ。

このバッチを通して、ボランティアのきっかけになればいいね。

そんな思いでつくりました。みなさんも、どこかにつけていただけると嬉しいです。

